

令和6年度 城友会 総会 資料

報告用（HP掲載）

令和7年2月15日（土） 14時00分
於 城友会館

令和6年度 城友会総会次第

司会 是永

1、城友会会長挨拶

大石 利光

2、学校長挨拶

久 和人

3、議事

(1)令和5年度収支決算報告【別紙1】 承認

(2)城友会 資産推移【別紙2】 現状報告

(3)令和7・8年度の入会金について【別紙2】 承認

(4)今後の城友会活動について【別紙3】

・城友会 解散/存続/合併の採決

・解散時期の決定

・閉校に向けた準備

令和9年3月を目処に

城友会を解散することを

賛成多数で承認

(5)その他

4、その他

令和6年度 城友会 総会 参加者一覧

○役員

					総会
1	役員	最高顧問	谷井 昭雄	工業 昭和 20 年卒	欠席
2		名誉顧問	安藤 忠雄	新高 昭和 35 年卒	欠席
3		名誉会長	新谷 秀一	新高 昭和 33 年卒	欠席
4			栢森 新治	新高 昭和 34 年卒	欠席
5			高橋 敏朗	新高 昭和 39 年卒	出席
6		会 長	大石 利光	新高 昭和 49 年卒	出席
7		副会長	豊留 貞典	新高 昭和 33 年卒	欠席
8			上出 満	新高 昭和 35 年卒	出席
9			山路 正人	新高 昭和 36 年卒	欠席
10			内田 文男	新高 昭和 41 年卒	欠席
11			今村 公一	新高 昭和 44 年卒	欠席
12			岡本 茂	新高 昭和 54 年卒	欠席
13		会計監査	濱 市治	新高 昭和 36 年卒	欠席
14			寺嶋 守久	新高 昭和 36 年卒	欠席
15		顧問	服部 誠	新高 昭和 32 年卒	欠席
16			高嶋 良充	新高 昭和 34 年卒	欠席
17			山本 雅史	新高 昭和 50 年卒	欠席

校 内	学校長		久 和人		出席
	事務長		吉川 祐次		出席
	教頭		三谷 兼一郎		出席
			宇井 友寿		出席
	常任幹事	幹事長	是永 一	新高 平成 12 年卒	出席

○会員

元校長	山田 幸男	第 17 代校長	出席
	鈴木 實	新高 昭和 35 年卒	出席
	仲 新一	新高 昭和 37 年卒	出席
	湊 廣二	新高 昭和 38 年卒	出席
	小山 八三	新高 昭和 43 年卒	出席
	高垣 佳市	新高 昭和 43 年卒	出席
	中島 健治	新高 昭和 49 年卒	出席
	山内 鉄夫	新高 昭和 54 年卒	出席
	平松 里実	新高 平成 5 年卒	出席

出席 17 名 欠席 14 名

令和5年度 収支決算報告

収入の部	項目	金額
	前年繰越金	5,798,238
	令和5年度同窓会入会金	912,000
	年会費	410,000
	ホームページ広告費	0
	預金利息	42
	その他	0
	合計	7,120,280

支出の部	項目	金額
	卒業記念印章費	62,150
	会報発行費	2,600,180
	事務通信費	59,008
	ホームページ維持費	22,550
	雑費	97,303
	総会費用	94,423
	その他	0
	合計	2,935,614

収支合計	4,184,666
------	-----------

承認

城友会 資産 推移 (案)

収支状況

●R6年度で会報の発行を休止。よって入会金は削減した場合

	繰越金	収入	支出	収支		入会金
令和4年度	6,650,342	1,845,780	2,697,978	5,798,238	-852,198	8,000
令和5年度	5,798,238	1,322,042	2,935,614	4,184,666	-1,613,572	8,000
案 令和6年度	4,184,666	1,280,000	3,212,935	2,251,731	-1,932,935	8,000
案 令和7年度	2,251,731	260,000	250,000	2,261,731	10,000	2,000
案 令和8年度	2,261,731	260,000	300,000	2,221,731	-40,000	2,000

●募金 2/12 現在 125 万円 (卒業年順)

承認

氏名	募金額	卒業年
鈴木 弘一		旧職員
永井 良		旧職員
加島 良彦		旧職員
辻 郁雄		旧職員
堀内 雅之		旧職員
山崎 純一		旧職員
佐藤 誠治		旧職員
田多 俊雄		旧職員
山岡 平和		旧職員
渡邊 幸彦		旧職員
小川 富士雄		旧職員
小田 旨計		旧職員
谷井 昭雄		昭和20年
松尾 誠一		昭和23年
川東 亀久生		昭和25年
吉川 巖		昭和25年
宮本 宏		昭和27年
市田 理		昭和28年
前田 勝		昭和28年
松下 昭		昭和29年
片岡 善次		昭和30年
坂上 豊巧		昭和30年
松川 勝		昭和30年
勝山 龍三郎		昭和30年
西川 功		昭和31年
鎌田 義行		昭和31年
橋本 富正		昭和31年
若林 勲		昭和31年
豊崎 忠夫		昭和32年
西川 喜久男		昭和32年
小池 武夫		昭和32年
大西 幸一		昭和32年

氏名	募金額	卒業年
大野 光雄		昭和32年
江口 潤一		昭和33年
三村 紀男		昭和34年
栢森 新治		昭和34年
伊藤 喜太郎		昭和34年
大西 健夫		昭和35年
朝賀 幸雄		昭和35年
福井 章		昭和35年
西田 孝		昭和35年
井上 績		昭和35年
上出 満		昭和35年
米田 正之		昭和35年
武田 勝彦		昭和36年
津村 重行		昭和36年
和田 貢		昭和36年
今村 三千男		昭和36年
大西 昭男		昭和36年
藤沢 進		昭和36年
北田 武治		昭和37年
川口 志郎		昭和37年
仲 新一		昭和37年
松岡 般		昭和37年
宮下 博一		昭和37年
前田 孝		昭和39年
高橋 敏朗		昭和39年
石原 富士雄		昭和40年
内田 文男		昭和41年
岸本 隆司		昭和42年
梶 英男		昭和42年
中村 香		昭和42年
朴井 登貴夫		昭和42年
今村 公一		昭和44年

氏名	募金額	卒業年
水野 豊		昭和44年
松本 雄二		昭和44年
戸田 輝		昭和45年
竹内 道雄		昭和45年
西川 昭史		昭和47年
吉見 彰夫		昭和47年
杉本 哲夫		昭和49年
室矢 恒彦		昭和49年
大石 利光		昭和49年
土井 一寛		昭和51年
堀池 真澄		昭和51年
永井 洋幸		昭和52年
森川 正美		昭和53年
丸菱 武志		昭和53年
山内 鉄夫		昭和54年
松岡 隆		昭和54年
岡本 茂		昭和54年
北前 良		昭和55年
米谷 紳一郎		昭和56年
井上 弘		昭和58年
片山 貴史		昭和58年
寺島 秀信		昭和59年
中井 一郎		昭和59年
唐橋 直幹		昭和60年
岩本 圭司		昭和61年
中山 善彰		昭和62年
安井 淳一		平成元年
濱田 修		平成3年
有森 洋一		平成9年
佐伯 水夏		令和3年
谷本 五星		令和6年

1,250,000

今後の城友会活動について

承認

城友会を解散する	解散	独自継続	布施工科と合併	新校とも合併
解散の時期	R8 年度 最後の卒業生	R9～10 年度	R11 年度 創立 100 年	
式典・祝賀会	祝賀会のみ	式典のみ	式典と祝賀会	
記念石碑	以下 今後検討 記念石碑・ステンレスプレート 閉校して新校になると「城工」の名前は敷地内から全て無くなります。 記念石碑やステンレスプレートなどを残したい 石碑 閉校の石碑？ 100 年の石碑？ 両方？ プレート 城友会館の屋外の壁？ 沿革や校歌			
ステンレスプレート				
記念誌	記念誌 作る 作らない 発行は R8？ 費用は城友会？ 卒業生も販売する？ 内容は 100 年分？			
個人情報関連	R8 以降は城友会館の建物・内装・備品は新校に全権譲渡する。 個人情報関連は全て処分？			

城友会（城東工高同窓会）会則

1. 総 則

- 第1条 本会は城友会（城東工高同窓会）と称する同事務所を大阪府立城東工科高等学校内に置く
 第2条 本会は正会員・特別会員・推薦会員をもって組織する
 第3条 本会の目的は会員相互の親睦を厚くし知識を交換し且つ工業の発展を期するにあり
 第4条 本会は支部を設けることをいう

2. 事 業

- 第5条 本会は第3条の目的を達するが為に大阪府立城東工科高等学校と連携して下記の事業を行うものとする
 1. 総 会
 2. 会誌の発行
 3. カミングデー&コミュニティー（文化祭に於いて）
 4. 職業の紹介
 5. 会員の弔慰
 6. その他必要となる事項

3. 会 員

- 第6条 本会の会員を分けて下の3種とする
 1. 正会員 大阪府立城東職工・第二工業・併設中・専修・工業・工科高等学校卒業生
 2. 特別会員 同校職員及び旧職員
 3. 推薦会員 同校中途退学者にして会員の推薦ありたるもの
 第7条 会員は異動のつど直の本会へ通知するものとする
 第8条 会員にして規約に違反し若しくは本会の名誉を汚す行為ありと認めるときは役員会の決議を経て除名することがある
 第9条 会員にして本会のため特に功労ありたる場合、工業のため研究又はこれに貢献の著しきものありと認めたる場合には役員会の決議を経て表彰することがある

4. 機 関

第10条 (1) 役 員

- | | | |
|-----------|-----|-----------------------------|
| 1. 最高顧問 | 若干名 | 役員会の推薦により会長これを委嘱する |
| 2. 名誉顧問 | 若干名 | 役員会の推薦により会長これを委嘱する |
| 3. 名誉会長 | 若干名 | 役員会の推薦により会長これを委嘱する |
| 4. 顧 問 | 若干名 | 役員会の推薦により会長これを委嘱する |
| 5. 会 長 | 1名 | 会員の互選による |
| 6. 副 会 長 | 若干名 | 会員の互選による |
| 7. 幹 事 長 | 1名 | 常任幹事の中より互選し会長これを委嘱する |
| 8. 副幹事長 | 1名 | 常任幹事の中より幹事長これを委嘱する |
| 9. 常任幹事 | 若干名 | 会員にして母校に奉職するもの |
| 10. 幹 事 | 若干名 | 各科同期会員の互選により選出されたもの及び各支部代表者 |
| 11. 書 記 | 2名 | 各科同期会員の互選により選出されたもの及び各支部代表者 |
| 12. 会 計 | 1名 | 各科同期会員の互選により選出されたもの及び各支部代表者 |
| 13. 会計監査 | 2名 | 各科同期会員の互選により選出されたもの及び各支部代表者 |
| 14. 実行委員会 | 若干名 | 会長の推薦によりこれを委嘱する |

①実行委員は、役員会に出席できる事とする。

(2) 総会

(3) 役員会
(4) カミングデー&コミュニティー実行委員会

- 第11条 顧問は本会の諮問に応ずるものとする
第12条 会長は本会を代表し会務を統括する
第13条 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する
第14条 幹事長は会長の下に会務の一切を処理する
第15条 副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長事故あるときはこれを代理する
第16条 常任幹事は幹事長と協力して会務を分担処理する
第17条 幹事は同期会員を代表し本会との連絡事務を司る
第18条 役員の任期は一年とする、但し再選を妨げない
第19条 書記は会務の記録一切を司るものとする
第20条 会計は別項の会計事務を司るものとする
第21条 会計監査は毎年度末会計の監査を行う
第22条 総会は年1回これを開く、必要あるときは役員会議を経て臨時総会を開くことをうる
第23条 役員会は年2回これを開く、必要あるときは会長これを臨時に召集する
第24条 総会に於いて取扱うべき事項下記の如し
1. 会務報告
2. 役員会に於ける議決事項の報告
第25条 役員会に於いて取扱うべき事項会の如し
1. 役員の選出
2. 規約変更及びその他重要事項の議決
3. 経費歳出入の件
第26条 カミングデー&コミュニティー実行委員会に於いて取扱うべき事項下記の如し
1. 文化祭の行事の手助け及び計画

5. 会 計

- 第27条 本会の会計年度毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終わる
第28条 本会の経費は、入会金・年会費・寄付金及びその他の収入を持って、これに充つ
入会金は8千円、年会費は2千円とする
第29条 入会金は次の通り納入すべし、正会員は各年度分割払いで、推薦会員は入会と同時に、
但し金額は役員会に於いて決定する
第30条 会計は下記の事項を取扱う
1. 収支の記帳・財産目録及び決算書の作成
2. 資金は確実なる方法により保管するものとする
3. 第21条の規定に従い会計監査を受けなければならない

6. 解 散

- 第31条 本会の解散は、役員会議を経て総会にて承認を得る
1. 解散準備によって生じる事項は、役員会議をもって決定できる

改定 H24.3.17
改定 H30.2.10
改定 R04.2.19
改定 R06.2.17

役員会・総会の予定日

	役員会	総会	備考
平成 21 年度		実施	80 周年
平成 22 年度			
平成 23 年度		3/17	
平成 24 年度			
平成 25 年度		2/8	
平成 26 年度			
平成 27 年度		2/7	
平成 28 年度	1/19		
平成 29 年度		2/10	
平成 30 年度			
平成 31 年度/ 令和元年度		2/8	90 周年
令和 2 年度	3/26（臨時）		91
令和 3 年度	1/15	中止	92
令和 4 年度	1/15	2/25	93
令和 5 年度	10/7（臨時） 1/27	2/17	94
令和 6 年度	9/14（臨時） 1/25	2/15	95 【最後の入学生】
令和 7 年度			96 【新校 1 期生入学】
令和 8 年度			97 【R9.3 閉校】
令和 9 年度			98
令和 10 年度			99
令和 11 年度			100

会報誌 郵送内訳

	郵送	不要	卒業者数
旧職員	268	470	738
昭和7年3月	1	84	85
昭和8年3月	2	91	93
昭和9年3月	1	92	93
昭和10年3月	4	92	96
昭和11年3月	7	80	87
昭和12年3月	4	100	104
昭和13年3月	11	97	108
昭和14年3月	1	91	92
昭和15年3月	9	233	242
昭和16年3月	26	327	353
昭和17年3月	26	261	287
昭和18年3月	22	201	223
昭和19年3月	1	41	42
昭和20年3月	73	425	498
昭和21年3月	38	200	238
昭和22年3月	5	30	35
昭和23年3月	100	459	559
昭和24年3月	95	414	509
昭和25年3月	42	178	220
昭和26年3月	70	236	306
昭和27年3月	54	151	205
昭和28年3月	44	169	213
昭和29年3月	70	154	224
昭和30年3月	102	238	340
昭和31年3月	107	252	359
昭和32年3月	90	262	352
昭和33年3月	111	304	415
昭和34年3月	117	305	422
昭和35年3月	180	288	468
昭和36年3月	163	285	448
昭和37年3月	148	312	460
昭和38年3月	109	321	430
昭和39年3月	124	312	436
昭和40年3月	124	331	455
昭和41年3月	122	399	521
昭和42年3月	107	477	584
昭和43年3月	112	436	548
昭和44年3月	121	415	536
昭和45年3月	91	382	473
昭和46年3月	114	332	446
昭和47年3月	91	332	423
昭和48年3月	74	344	418
昭和49年3月	74	355	429
昭和50年3月	68	356	424
昭和51年3月	80	303	383
昭和52年3月	62	296	358
昭和53年3月	79	271	350

	郵送	不要	卒業者数
昭和54年3月	73	282	355
昭和55年3月	82	265	347
昭和56年3月	97	280	377
昭和57年3月	106	285	391
昭和58年3月	118	280	398
昭和59年3月	108	295	403
昭和60年3月	113	277	390
昭和61年3月	121	284	405
昭和62年3月	157	266	423
昭和63年3月	153	288	441
平成元年3月	169	283	452
平成2年3月	161	292	453
平成3年3月	143	240	383
平成4年3月	147	249	396
平成5年3月	130	206	336
平成6年3月	120	221	341
平成7年3月	120	195	315
平成8年3月	136	179	315
平成9年3月	121	171	292
平成10年3月	126	172	298
平成11年3月	117	151	268
平成12年3月	135	163	298
平成13年3月	127	157	284
平成14年3月	127	166	293
平成15年3月	119	170	289
平成16年3月	168	130	298
平成17年3月	145	158	303
平成18年3月	123	103	226
平成19年3月	136	112	248
平成20年3月	153	131	284
平成21年3月	155	98	253
平成22年3月	169	95	264
平成23年3月	162	90	252
平成24年3月	187	99	286
平成25年3月	173	101	274
平成26年3月	162	78	240
平成27年3月	191	71	262
平成28年3月	191	72	263
平成29年3月	223	50	273
平成30年3月	219	63	282
平成31年3月	208	37	245
令和2年3月	226	17	243
令和3年3月	216	29	245
令和4年3月	176	11	187
令和5年3月	170	4	174
令和6年3月	113	0	113
令和7年3月	131		131
郵送合計	10,467	19,950	30,286

卒業者数 29,679